

リコーグループは、 コメットサークルをコンセプトに 環境経営を実現します。

コメットサークルの考え方

コメットサークルは、循環型社会を表現したもので、上のルートが動脈系、下のルートが静脈系を表しています。また、それぞれの球体は、循環型社会を形成するパートナーを表しています。右上の「原材料供給者」によって自然環境から取り出された「資源」は、上のルートを右から左に流れる間に「製品」となってユーザー(お客様)に届けられます。経済価値は、図の左側へ行くほど高まります。製品は、資源がもっとも経済価値の高い状態であることを意味します。使用済みの製品は、下のループをたどって、左から右へと流れます。持続可能な循環型社会を実現するためには、なるべく内側のループを使用して、経済価値が高く、環境負荷の低い循環を推進する必要があります。また、球体で示された各パートナーが、それぞれの環境負荷を自然の回復力以下に削減していくことも重要です。

環境経営の実現に向けて

リコーグループは「環境経営」を実現するために、環境負荷の少ない製品づくり^{*1}、お客様の環境負荷削減への貢献^{*2}、リサイクル事業の黒字化^{*3}などを推進しています。リサイクル事業に関しては、これまでの社会インフラが動脈系を中心に構築されていたことがネックになっていました。リコーグループは、動脈系と静脈系を融合したインフラの確立に努めると同時に、リサイクル対応設計のレベル向上なども図り、グローバルなリサイクル事業の黒字化に取り組んでいます。

*1 16、35～44、47～52ページを参照。

*2 17、38ページを参照。

*3 41、58ページを参照。

パートナーシップによる環境保全の推進

コメットサークルは、環境保全のコンセプトだけでなく、パートナーシップも表しています。現在は、製品の性能だけでなく、製品がどのような国や地域で、どのようなプロセスによってつくられているのかが、購買や企業価値を決定する要因になっています。リコーグループは、仕入先様^{*1}やリサイクル事業者様^{*2}に対して、業務改善・品質改善・環境保全といった視点での支援を行ってきました。また、お客様の環境負荷削減^{*3}に貢献するための、製品開発・提案も積極的に行っています。

*1 44、45、72ページを参照。

*2 72ページを参照。

*3 55ページを参照。

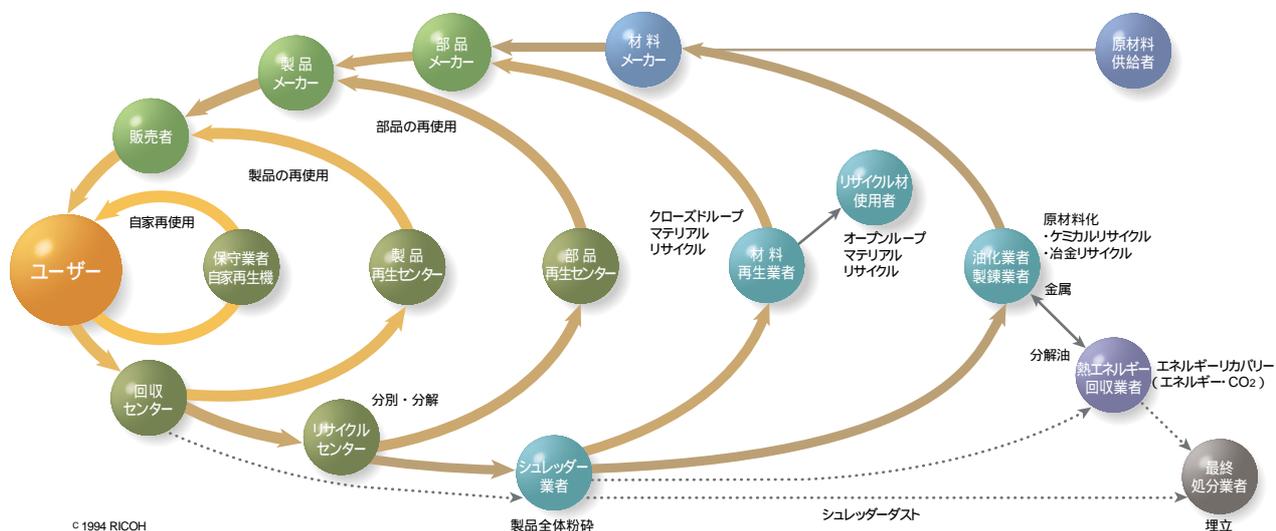
パートナーシップの拡大

持続可能な社会をつくるためには、パートナーシップの拡大も重要です。たとえば、リコー製品の使用済みプラスチックは、従来、自社製品として再利用するほか、他業界でも利用されていました。2002年度は、他業界の使用済み製品であるペットボトルを使用したプラスチック部品^{*1}を開発することに成功しました。また、自然環境から得た資源を事業活動に使用し、使用後は再び生態系に戻すという新たな発想のごみゼロ活動も始まるようとしています。これは、コメットサークルに「生態系から生態系へ^{*2}」という新たな考えが付加されることを意味します。

*1 17ページを参照。

*2 18ページを参照。

循環型社会実現のためのコンセプト「コメットサークル™」



© 1994 RICOH

1 全ステージでの環境負荷の把握と削減

循環型社会を実現するためには、コメットサークルに球体で示された各ステージや輸送工程での環境負荷を削減し、社会から発生する環境負荷の総量を最小限にしていく必要があります。そのため、リコグループはもちろん、仕入先様、お客様、リサイクル事業者様など、すべてのステージおよび輸送段階で発生する環境負荷を「環境経営情報システム」によって把握し、環境技術の開発や世界各地で回収・リサイクルを推進することによって、環境負荷を削減します。

2 内側ループのリサイクル優先

資源の経済的価値が最も高いのは、「製品としてお客様に使用していただいている状態」です。リコグループは、使用済み製品を、再び経済価値の高い状態に戻すために必要な資源・コスト・エネルギーを最小にすることを旨とし、コメットサークルの内側ループでのリユースやリサイクルを優先的に採用しています。

3 重層的リサイクルの推進

リサイクルを可能な限り繰り返し「重層的」に行うことにより、新たな資源の投入や、廃棄物の発生を抑制することができます。リコグループは、自社製品のリサイクルを行うだけでなく、ペットボトルのリサイクル材をトナー容器に採用するなど、他業界からの排出物も積極的に活用し、重層的リサイクルを推進しています。

4 経済効果の高いリサイクルへ

循環型社会を成立させるためには、通常の生産・販売と同様に、製品使用後においても「お金が物と逆方向」に流れる必要があります。リコグループは、リサイクル対応設計を高度化させるとともに、リサイクル事業者様とのパートナーシップにより、経済合理性の高いリサイクルの仕組みづくりを推進しています。一方、環境負荷の少ない製品や企業活動を評価し、優先的に購入する社会システムが構築されることも重要です。

5 すべてのステージとのパートナーシップ

製品メーカーであるリコグループの努力だけでは、環境負荷の削減量も限られます。材料・部品メーカー様との協力による化学物質の使用量削減をはじめ、お客様に環境負荷の少ない製品をご利用いただくこと、あるいは負荷の少ない使い方を提案させていただくこと、製品や使用済み製品の輸送の効率化、リサイクル時の環境負荷やリサイクルコストの削減など、すべてのステージの方々とのパートナーシップにより、効果的な環境負荷削減を、経済合理性のある方法で実現していく必要があります。また、これらの活動を通じて得られた情報やノウハウを広く社会に発信して行くことで、社会全体の環境負荷削減に貢献して行きます。私たちは、情報の共有がパートナーシップのベースであり、情報の受け手となってくださるすべての方々をパートナーと考えています。